

消化管悪性腫瘍検出を目的とした新規高感度遊離DNAアッセイの有用性を探索する前向き観察研究

対象となるがん	消化管原発の悪性腫瘍（食道がん、胃がん、大腸がんなど）
治療ライン	
実施方法(治験のデザイン)	これから手術療法、放射線療法もしくは全身薬物療法を受ける予定の消化管原発の悪性腫瘍（食道がん、胃がん、大腸がんなど）患者さんを対象に、治療前や治療中、治療後に定期的に血液検査を行い、血液中のDNA（セルフリーDNA）の変化を調べることを目的とする
UMIN / jRCT	
施設代表者	慶應義塾大学医学部 腫瘍センター 平田賢郎
研究代表者	愛知県がんセンター 薬物療法部 谷口 浩也
進行状況	登録中
臨床試験に参加いただける患者さんの身体状況（患者選択基準）	以下の条件がすべて満たされている方、かつ除外基準に該当しない方 1) 本研究登録前に研究内容の十分な説明が行われた後に、患者本人から文書による同意が得られる 2) 登録時の年齢が18歳以上である 3) 消化管原発の悪性腫瘍である 4) 全身薬物療法、放射線療法、手術療法のいずれかが予定されている（全身薬物療法中の患者は、前治療増悪後かつ次治療開始前に登録可能） （注）上記の患者選択基準は概要であり、上記に該当していてもこの治験に参加できないことがありますので、ご了承ください。